

社員114人を抱えながら、家族ぐるみの健康経営で着実な成長を続けるエー・シー・トランスポート（篠田昌孝社長、埼玉県戸田市）。2015年4月から新卒者の定期採用をスタートさせ、今春は4人の新卒者が入社した。新卒者は毎年獲得できている背景には、8年前に新設した広報・採用担当の活躍がある。今春入社したのは大卒、高卒が2人ずつ。高卒者のうち、1人は女性だ。全員ドライバー志望で、女性は24年春に高卒入社してドライバーを務める兄の勧めでこの職場を選んだという。新入社員は入社後、延べ

エーシートランスポート

広報採用担当が活躍

働きやすい環境 新卒を毎年獲得

3カ月の外部研修を受けながら現場で仕事の流れを覚える。ドライバーの場合は



入社式で新卒社員（前列の証書を持つ4人）ら

更に3カ月の同乗勤務を経て、2ト車でワンマン乗務に移行する。

11年に入社した中田裕美絵氏（40）は、1年前に一般事務員から広報・採用担当になった。9歳の娘、7歳、2歳の息子を育てており、池永和義会長は「産休（制度）を3回も使っている」と笑うが、それだけに人が好きであることの証しとしての部署異動となったようだ。

中田氏の年下の夫は、23年に大工から転職して同社のドライバーとして勤務している。2年目の現在、4ト車に乗務。同社にとって兄弟、夫婦での勤務は当たり前前の光景になってきているようだ。

市」と名古屋営業所（名古屋市港区）の2拠点体制で、トラックの保有台数は90台。設立24年目を迎え、

グループ企業を含めて右肩上がりの伸びを堅持する。

広報・採用担当は、21年春の新卒入社（大卒）の野中美咲氏（26）との2人体制となっている。X（旧ツイッター）や写真共有アプリ「インスタグラム」などのSNSを活用。動画投稿サイト「YouTube」用にドライバーの1日の行動などの動画撮影も行う中田氏は「ドライバーも含め、社員全員が残業も少なく、勤務体制も比較的自由に設定できるなど、働きやすい環境が定着率の向上につながっているのでは」と話している。

同社は本社営業所（戸田

（谷本博）